

# もも・ネクタリン特報 No. 10

2021. 7. 16

J A 中野市営農センター

J A 中野市りんご・もも部会

※この特報No.10は、7/2発行の「もも・ネクタリン特報No.9」の薬剤散布（散布目安は、7/20～30頃）が終わってから行なう防除を掲載しています。特報No.9の内容を再度、ご確認ください。

※引き続き、せん孔細菌病（枝病斑・葉病斑・果実病斑）を見つけ次第、除去して下さい。

また、新梢が繁茂している場合は、徒長枝の整理を行い樹冠内の日当たりを改善して下さい。

※次面には、栽培管理作業について記載しています。再度ご確認ください。

## 農薬散布時の注意事項

①隣接園・今後収穫期を迎える作物に飛散しないよう十分注意する。

②散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行い、薬液が残らないよう注意する。

# もも

## 第11回 定期散布

散布時期 8月上中旬（第10回目の定期散布から14日後）

・散布日の目安：8月5日～15日

散布日 月 日

散布量 リットル

散布薬剤 水 100リットル当り

展着剤（ハイテンパワー） 10ml

アルバリン顆粒水溶剤 50g（収穫前日まで、3回以内）

オーシャインフロアブル 50ml（収穫前日まで、3回以内）

散布量 10アール当り 500リットル

混用順 水 ⇒ 展着剤 ⇒ アルバリン顆粒水溶剤 ⇒ オーシャインフロアブル

対象病害虫 灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、カメムシ類、モモハモグリガ

注意事項 ①アザミウマ類発対策：ディアナWDGの10,000倍（前日、2回）を加用する。

②せん孔病発生園（晩生種）で袋掛けが終了していない場合は、

スターナ水和剤1,000倍（収穫7日前、3回）を加用する。収穫前規制に注意する。

# ネクタリン

## 第11回 定期散布

散布時期 8月上中旬（第10回目の定期散布から14日後）

・散布日の目安：8月5日～15日

散布日 月 日

散布量 リットル

散布薬剤 水 100リットル当り

展着剤（ハイテンパワー） 10ml

アルバリン顆粒水溶剤 50g（収穫前日まで、3回以内）

オーシャインフロアブル 50ml（収穫前日まで、3回以内）

散布量 10アール当り 500リットル

混用順 水 ⇒ 展着剤 ⇒ アルバリン顆粒水溶剤 ⇒ オーシャインフロアブル

対象病害虫 黒星病、灰星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、カメムシ類、アザミウマ類

注意事項 ①もも混植園 アザミウマ類対策：ディアナWDGの10,000倍（前日、2回）を加用する。

②せん孔病発生園（晩生種）で袋掛けが終了していない場合は、

スターナ水和剤1,000倍（収穫7日前、3回）を加用する。収穫前規制に注意する。

## 栽培管理作業について

### 除袋 ～ 収穫までの流れ

除袋（収穫 10～14 日前） ⇒ 収穫前最終防除 ⇒ 反射マルチ（収穫 7～10 日前） ⇒ 収穫  
 （葉摘みは、除袋期から反射マルチを敷くまでに適宜実施する）

#### ◆除袋（収穫開始予想は、平年よりやや早い状況です）

	品 種	除袋 終了目安
着色しやすい品種	白鳳・あかつき・なつっこ・川中島白鳳・川中島白桃・黄金桃など	収穫 10 日前
着色しにくい品種	山根白桃・志賀白桃・白桃・白根白桃・ゴールデンピーチ・秀峰など	収穫 10～14 日前

- ① 除袋適期：果実の地色が抜け、やや緑色が残っている時期。地色の緑色が完全に抜け、果面が黄白色では遅い。
- ② 果実温が低い時間帯に除袋を行うと日焼けを生じやすいため、早朝に除袋は行わない。
- ③ 2重袋を使用している場合は、外紙を除いて中袋を残して収穫する。  
 ⇒ 成熟が早まる傾向があるため、除袋が遅れないよう注意する。除袋が遅れると、鮮明な着色に仕上がらない。
- ④ 除袋後は果実に密着している葉を摘み取り、着色のムラを防ぐ。（極端な葉摘みはしないこと）
- ⑤ 除袋時期に入って天候不順で日照不足が続くときは、2日くらい早めに除袋する。

#### ◆反射マルチ

反射マルチは白系マルチ『タイベック』等を使用する。

（タイベック ⇒ 夏の高温対策、成熟の極端な進みを回避。着色向上にも有効）

着色のしやすい品種＝収穫 7～10 日前	着色しにくい品種＝収穫 10～14 日前
[使用上の注意]	
1. 徒長枝切りや樹冠の混みあっている枝を整理し、園全体の日照条件をよくする。（暗い園は効果が少ない）	
2. 事前に園内の除草や整地を行ない、地面を平らにする。	
3. 反射マルチは風で飛ばないように固定する。	
4. 着色が食味より先行するため、早もぎになりやすいので収穫は熟度を確認してから行なう。	

#### ◆葉摘み

果実周辺の密着している 2～3 枚（多くても 5～6 枚程度まで）を摘む。

葉摘み開始時期 ⇒ 有袋：除袋期前後から実施      無袋：着色始めから実施

◎果実の鮮度保持のため、果実温の低い時間帯に収穫する。（早朝から午前 8 時ごろまでが望ましい）

◎収穫の際は、果頂部に指先をかけないように手のひらを果頂部にあて、指先は果梗部の近くの肩にかけて、ゆっくりと動かして採取する。

#### ◆一般管理

果実肥大が進んでくると、主枝の垂れ下がり、枝折れが心配されます。支柱を立て、枝つりを見直しましょう。

★灌水：10 日以上雨が降らない場合、必要に応じて灌水する。\*参考：成熟 10 日前までは、10 a 当り 20 ミリ程度。

★排水対策：本年は梅雨明け以降も多雨が予想されているため、予め暗渠・明渠等の対策を講じておく。